

ちょっと寄り道



中学生と分校生によって6月に深谷地区の県道沿いに植えられた約15,000本のサルビアとマリーゴールドがきれいに咲き誇っています。
1.5kmにおよぶ花道が、通る人の目を和ませています。

村のうごき

村内で交通死亡事故発生！
交通死亡事故ゼロの日「342日」でストップ



今後の交通安全対応等について話し合われた緊急対策会議

8月6日に発生した交通死亡事故を受けて、関係団体による「交通安全緊急対策会議」が8月12日、役場会議室で行われ、今後の対応等について話し合われました。
この事故は、8月6日の夕方、草野赤坂地区の県道にて、18歳の少年が運転する乗用車が歩道を乗り越えて道路脇の電柱に衝突し、車外に投げ出されて死亡したものです。
会議では、事故の様子が説明された後、今後の対策と取組みについて確認がなされました。
主な取組みは、事故発

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
心菜	菅野達也・和佳子	草野
未来	八巻光広・美幸	草野
翔馬	山田大輔・望美	比叡

すくすくと元気に育ってね

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 一雄	74	長泥宮
高橋 榮治	63	小宮
佐藤 チトセ	88	二枚橋・徳沢
高野 キヨミ	91	関谷
鈴木 皓司	71	深谷
井上 豊喬	18	関谷
佐藤 勝衛	85	大倉
伊東 サクヨ	71	関谷
川里 忠治	97	宮内

ご冥福をお祈り申し上げます

(平成16年7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

名称は『石ポロ坂トンネル』



トンネル貫通のお祝いと、今後の工事の安全を祈願し鏡割をする関係者

昨年10月から掘削していた芦原地区のトンネル(全長647m)がこのほど貫通し、8月26日に同トンネルの内部で貫通式が行われました。
関係自治体や地権者、工事関係者など100人が出席した貫通式では、はじめに高木明義相建設計事務所長が発破スイッチを押して貫通発破した後、貫通式実行委員長の菅野村長から「言葉では表せないほどの大きな喜びを感じています。トンネルの貫通によって、産業経済、医療福祉など今後あらゆる面での活性化が期待できます」と挨拶が述べられました。続いて、来賓や工事施行者らによる鏡割が行われ、トンネルの貫通を祝うとともに、今後の工事の安全を祈願しました。
同地区の道路は、急カーブや急勾配が続く、冬場の積雪や路面の凍結により、通行止めや事故が

起きるなど、県北地区と相馬地区を結ぶ主要道路としての通行が阻害されてきたことから、かねてより道路の改良とトンネルを望む声が多くありました。このため、関係自治体で組織する「主要地方道原町川俣線改良促進期成同盟会」が、県などに対して強く要望を続け、今回のトンネル工事に至ったものです。
工事関係者の話によると、工事の途中には、硬い岩盤や大量の流水などの影響もあつたそうですが、1日約4〜5mのペースで掘り進み、掘削開始から10カ月での貫通とのこと。
石ポロ坂トンネルは、今後内部のコンクリート吹付けや舗装作業などが進められ、開通は、来年秋頃を予定しています。



村長へ要請書を手渡す佐野会長

浜風が吹きぬけた
村のうごき



村のうごき

農業委員会の必置 村に要請

7月26日、佐野ハツノ村農業委員長と赤石沢一彦会長職務代理者が役場を訪れ、菅野村長に要請書を提出しました。
要請では、「農業委員会は農地の確保と有効活用、担い手の確保・育成という重要な使命を担っている」とした上で、農業委員会の役割・機能を再確認の上、今後とも農業委員会の必置規制を堅持すること、農業委員会交付金の維持・確保を図ることの2点について村に要請しました。

秋の交通安全運動

生現場などに注意を促す看板を設置することや、広報車による広報活動、街頭指導の実施などです。
今回の事故で、昨年8月30日から続いていた村の交通指導事故ゼロ日数が「342日」でストップしました。
飯館村では、平成14年から3年連続して交通死亡事故が発生しており、大半が運転経験の浅い若年運転者です。
交通事故はいつ、どこで起きるか分かりませんが、いつでも、どこでもスピードを抑えて安全運転に徹してください。
秋の夕方は、うす暗くなる時間帯が早まり、ドライバーが歩行者や自転車で行き交う人が多くなります。歩行者は反射材を身につけるとともに、自動車やバイク、自転車を運転する際は、早めのライト点灯を心がけましょう。

9月21日から30日は、全国一斉の「秋の交通安全運動期間」です。期間中は、街頭指導のほか、役場職員によるシートベルト着用調査を実施する予定です。